

北翔

hokushou

2022
新年号



一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

もくじ

ごあいさつ 北海道知事	鈴木 直道	1
札幌市長	秋元 克広	2
(一社)北海道ビルメンテナンス協会 会長	岡田 知己	3
令和3年度表彰		4
第59回優良従業員表彰式		5
令和3年度北海道・東北BM協議会		7
令和3年度労働安全衛生大会		8
令和3年度労働災害防止論文		17
令和3年度労働災害防止標語		21
各地区協議会トピックス		23
製品情報		28
ビルメンひろば		29
広告		31

表紙説明

苫小牧市、千歳市 樽前山

写真提供元 苫小牧市産業経済部 産業振興室 観光振興課

樽前山（標高1,041m）は世界的に珍しい三重式活火山として知られています。市内から七合目までは車で約60分、七合目から頂上までは約50分で登ることができます。高山植物の観察、支笏湖や太平洋の雄大な景色を堪能でき、本格的な登山が身近に楽しめる山として親しまれています。





年 頭 所 感



北海道知事

鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新しい年を迎えられたことを大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返す予断を許さない状況が続く中、感染拡大地域における外出自粛や飲食店等の営業時間短縮など様々な制限を余儀なくされ、社会経済活動に大きな影響が及びました。

この間、私としては、何よりも道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、国や市町村などと連携し、感染症への対応に最善を尽くしてまいりました。道民の皆様、事業者の方々には、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。

感染症との闘いが続く中であっても、昨年は本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となりました。7月には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、8月には、札幌で開催された東京オリンピックのマラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が披露され、世界に発信されるなど、本道固有の歴史や文化への関心が高まりました。また9月には、バーチャルでの開催ながらアジア初となったアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021を通じて、北海道の自然・異文化体験・アクティビティの魅力が世界に紹介され、2023年のリアル開催内定にもつながりました。そして10月には、苫小牧市などにおいて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のオンラインによる御臨席を賜り全国育樹祭が開催され、本道発祥の「木育」の輪を全国に広げる好機となったところです。

また、大規模な物産展の開催が難しい中での首都圏スーパーにおける北海道フェアの成功や、「どさんこプラザ」の羽田空港と大阪あべのハルカスへの新規出店は、発想の転換によりピンチをチャンスに変え、本道の食の魅力を最大限活かし、新たな需要獲得につながる取組となりました。

本年においても、新たな変異株への警戒を最大限に高めながら、感染拡大を抑え、再拡大への備えに万全を期すとともに、社会経済活動と

の両立に取り組んでまいります。医療・療養体制については、全道で2,028床の最大確保病床数を確保しているほか、それを超える事態も想定し、新たに2,214床の緊急フェーズを設けるとともに、三次医療圏すべてで宿泊療養施設を運用してまいります。また、社会経済活動の回復に向けて、ワクチン接種を円滑に進めるとともに、どうみん割をはじめとする各種需要喚起策を通じて、感染防止行動を実践しながら日常生活を取り戻していく取組を進めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、本道の揺るぎない価値を一層磨き上げながら、コロナ禍に伴う人々の考え方や行動の変化を背景に、積雪寒冷の気候や広域分散型の地域構造など、これまで本道にとってハンディとされてきた特性を新たな強みとして確立するとともに、脱炭素化やデジタル化といった社会変革の動きを的確に捉え、ポストコロナを見据えた「攻め」の視点を持って果敢に挑戦してまいります。

特に、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けては、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした道内各地域の脱炭素化の取組を支援するとともに、道自身も公用車の次世代自動車化等により2030年までの50%削減に取り組むなど、オール北海道で目指す姿を共有します。

また、ICTやAIなどの技術を活用した未来社会「北海道Society5.0」の実現に向けては、道民の皆様の視点に立った行政サービスのデジタル化や遠隔医療・遠隔教育、スマート農林水産業など地域の実情を踏まえたデジタル化の取組を加速します。

こうした将来の成長につながる政策の種をまき、道民の皆様とともに育て、これからも本道が持続的に発展していけるよう全力で取り組んでまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、新たな希望と飛躍に向けたスタートラインとなりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。



年 頭 所 感



札 幌 市 長

秋 元 克 広

年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が市内で確認されてから約2年が経過いたしますが、市民・事業者の皆さまには、外出自粛や営業時間の短縮、休業要請など、大変なご負担をお掛けしながらも、ご理解とご協力をいただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

いまだ予断を許さない状況ではございますが、ワクチン接種の進展や治療薬の普及により、感染対策と社会経済活動の両立に向けた動きが本格化しております。引き続き、感染対策を最優先に取り組みながら、コロナ禍により打撃を受けた事業者への支援を行い、市内経済の回復に向けた取り組みを進めてまいります。

今年は、市制施行100年という節目を迎えます。札幌市は、感染症への対応や人口減少、少子高齢化など、さまざまな課題に直面しておりますが、そうした中でも、誰もが安心して暮らし、魅力と活力を創造し続けるまちづくりを進めていかなければなりません。

そのためには、若い世代が札幌に定着できる環境整備が必要と考え、成長が期待されるITや健康医療・バイオ等の分野を中心としたスタートアップ企業の創出支援、観光・食関連産業のさらなる振興などに取り組み、魅力ある雇用の創出につなげてまいります。

また、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、引き続き保育定員の拡大や、子育てに困

難を抱える方への支援に取り組むほか、北海道初となる公立夜間中学「星友館中学校」を四月に開校し、誰もが輝けるまちづくりにも力を入れてまいります。

そして、未来を見据えたまちづくりを進める契機となるのが、2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致です。世界最大の競技大会の開催は、子どもたちに夢と希望を与えとともに、スポーツを通じた健康と活力ある社会の実現や、バリアフリー化の推進などにより、全ての人にやさしい共生社会の実現につながるものと考えております。さらに、大会の開催に向けて、市民・企業・行政が力と想いを結集し、さまざまな課題の解決に取り組みながら歩む道のりは、将来にわたって持続可能な街を築いていくための大きな契機になるものと確信しています。今後、市民の皆さまと対話を行いながら、計画のさらなる検討を進め、大会の実現を目指してまいります。

私たちの街・札幌は、先人たちの知恵とたゆまぬ努力により、さまざまな社会経済情勢の変化に対応しながら、世界に誇る大都市へと発展してきました。先人たちから受け継いだこの素晴らしい札幌の街を、未来を担う子どもたちへ持続可能な形で引き継ぐため、今年を次の100年を見据えたまちづくりを進める礎を築く1年としてまいります。

どうか今年も、皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。



年 頭 所 感



一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会 長 岡 田 知 己

「新しい時代と業界の発展に向けて」

新年、明けましておめでとうございます。令和4年の幕開けにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、新たな変異ウィルスの出現により、まだまだ安定した終息が見えない状況です。

昨年は、8月に札幌市で東京五輪マラソン大会が開催され、様々な制限がありましたが無事終了し、業界にとって非常に良い経験となりました。

一方で、10月に改定された最低賃金は、過去最大となる賃金の引き上げとなりました。道協会としては、労働集約型産業であるビルメンテナンス業は「人が財産」であり、賃金の引き上げは社会的責務であると認識しておりますが、長引くコロナ禍により、業界を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。会員企業さんは、「事業の存続」と「雇用の維持」を最優先に取り組んでおり、北海道の改定額は889円となり、28円（3.25%）の大幅な引き上げは、業界全体の事業運営に多大な影響を及ぼしま

す。このため、道協会では、関連する団体と連携し、中小企業・小規模事業者の窮状をしっかりと考慮した対応が行われるよう、各方面に要望などの働きかけを行ってきました。

また、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言などにより、道協会で開催する研修の開催回数が減少しましたが、宣言等の解除後に直ちに実施できるよう調整し、感染防止対策を徹底したうえで一会場あたりの受講者を増やすなどして、計画どおりの受講者数となるよう、対応を行ってきたところです。

何れにいたしましても、コロナ禍の出口は未だ見えませんが、道協会としては、これまでの実践を通じて培ってきた経験を強みにして、必ず訪れるコロナの終息後において、この強みが十分に発揮でき、この先に向かって大きく前進できるものと考えております。

現在、2030年冬季五輪・パラリンピックの札幌開催の招致に向けた動きもあります。コロナ禍の先にある、夢のある未来に向かって、令和4年も皆様にとりまして最良の年となりますよう、共に頑張っていきましょう。

令和3年度において、当協会から下記の方々が受章及び受賞されました。
受章及び受賞された皆様は、長年に亘り企業内はもとより、ビルメンテナンス業界の発展のために幅広く尽力されました。

心よりお祝い申し上げます。

○令和3年（2021年）春

令和3年春の褒章

◎黄綬褒章（労働関係）

江藤 恭一 氏（株）江藤美装 代表取締役

○令和3年（2021年）秋

令和3年秋の叙勲

◎旭日小綬章

山田 春雄 氏（株）ベリージャパン 代表取締役

令和3年秋

◎北海道社会貢献賞

生活衛生関係（建築物環境衛生）功労者

左海 富美雄 氏（ベルックス株）副会長

第59回 優良従業員表彰式

令和4年1月12日(水)に札幌グランドホテルにて、新型コロナウイルスの感染対策を万全に行い開催いたしました。

会員企業において、日頃の清掃や設備管理業に精励し、永年の努力が認められた優良従業員93名と、当協会が募集した令和3年度 労働災害論文・標語の入選者11名の方々の表彰を行いました。

表彰式は別館2階「グランドホール」で行われ、石田副会長による開式の辞、岡田会長の式辞、北海道知事 鈴木直道様及び札幌市長 秋元克広様のメッセージ紹介が行われました。

その後、優良従業員一人ひとりが紹介され、岡田会長から出席者全員に表彰状と記念品が授与され、続いて労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状と記念品が手渡されました。

受賞者を代表して、札幌施設管理(株)穴戸杏里さんから謝辞があり、多田副会長の閉会の辞にて表彰式は滞りなく終了いたしました。

式典後には出席者全員で記念撮影が行われました。

表彰の荣誉に輝いた皆さまにこころからお祝い申し上げます。



石田副会長 開式の辞



岡田会長 式辞



北海道知事・札幌市長 メッセージ紹介



優良従業員、論文・標語 受賞者全体



謝辞 受賞者代表 穴戸 杏里さん (札幌施設管理(株))



多田副会長 閉会の辞

● 優良従業員と労働災害防止論文・標語の入選者の方々 ●



第59回 優良従業員受賞者



令和3年度 労働災害防止論文・標語入選者

令和3年度 北海道・東北BM協議会（青森市）

本年度は、12月20日(月)～21日(火)に青森県青森市において、東北6県及び北海道の協会から総勢46名が参加のもと開催されました。

昨年度はコロナの影響で中止となりましたが、今回は開催地の青森県ビルメンテナンス協会をはじめ東北地区本部のご尽力のもと、新規感染者が縮小しているものの感染防止対策上、各県協議会からの参加者を制限するなどして開催されました。

会議は、伊藤英明東北地区本部長、山田春雄北海道地区本部長の両名による挨拶から始まり、特別講演では、全国ビルメンテナンス協会

の関内健治事業開発部主任による「全国協会が進める入札制度改善事業について」と、当協会の岡田知己会長による全協の発注ガイドライン普及ワーキンググループ座長としての立場で「法令に基づく入札制度改善要望について」の講演が行われました。

講演後の意見交換においては、道内の具体的な取組事例も交えた講演内容に各県協会の方々には非常に関心を示していた様子でした。

なお、令和4年度の本協議会は、北海道釧路地区で開催されることとなっております。

会議の様子



令和3年度 労働安全衛生大会

(一社)北海道ビルメンテナンス協会主催・厚生労働省北海道労働局の後援を受け、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を北海道労働局指導のもと実施して、前年度に続き参加人数を半数制限に絞り全道8地区で総勢131社、277名の参加者を得て開催しました。

また、開会にあたり厚生労働省北海道労働局長 上田国土 様のメッセージを各開催地で紹介しました。

本年の講義・講演は、各地区の労働基準監督署の講義に加え、“十勝、釧路、札幌、旭川”4地区では、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会北海道支部より講師を招き“労働安全活動の手法や防止対策等”を講演いただき、“苫小牧・北見・室蘭・函館”4地区では(一社)北海道労働安全サービスセンターの集団支援を活用して、安全講話「危険を知って災害を防止し、エイジフレンドリーな職場を作ろう」と題して講演された。死傷災害は、転倒、墜落転落が多く、続いてはさまれ巻き込まれが多い状況であるが、腰痛も関連することから、今回の講

演は転倒に絞って話を進められた。

転倒災害は、「すべる」「つまずく」「踏み外す」ことによって発生することから、転倒防止策として、良い歩き方の習慣化(足元の視界の確保、荷物を抱えない、手を空ける、手摺を使う等)、転倒しにくい靴の使用(サイズ、重心、トゥスプリングが高く柔らかく、底が滑りにくい)、予測して歩く習慣を(「転倒リスクマップ」の作成等)といったこと、また、転倒防止の観点から腰痛対策として、「腰痛防止の“これだけ体操”」の実演や腰にやさしい姿勢を教示された。

1 苫小牧地区大会

- (1) 10月7日(木)13:30～「苫小牧市民会館」にて10社30名が参加しました。

苫小牧地区協議会石川事務局長の司会進行で始まり、北海道協会副会長兼地区会長の水野光宏氏より今回の大会を契機に労災減へ向けて各社とも更なる取組の実施をとの開会挨拶により開会しました。

講義・講演終了後、苫小牧地区輪島信男副会長より閉会挨拶があり、皆様の御協力のもと今回も有意義に終えることができ、これからも本大会を継続していきましょうとの挨拶で終了し、閉会しました。

- (2) 講義……苫小牧労働基準監督署 署長 加藤孝 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。
- 令和3年度の労災件数は全体で増加傾向となっている。

この状況を受け北海道労働局においても、死亡労働災害撲滅及に向けた緊

急要請を出したが、その後も好転はしていない。道内のみならず苫小牧管内も同様の傾向となっている。

8月末の時点で前年より20パーセントほど件数が増加となっており、業界全体での取り組みが重要となっている。

- ①企業トップが自らパトロールを実施
- ②現場ごとに検討を行い、速やかに対応

- ③職員の安全意識を高める

以上を継続的に行っていただきたい。

新型コロナも一見落ち着いているように見えるが、まだまだ収束とは言えない状況であるが、感染対策を徹底しつつ、安全意識を保つようご尽力いただきたい。

- (3) 講演……北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

・苫小牧地区担当 ～ 安全管理士 衛生管理士 吉村 良起 様



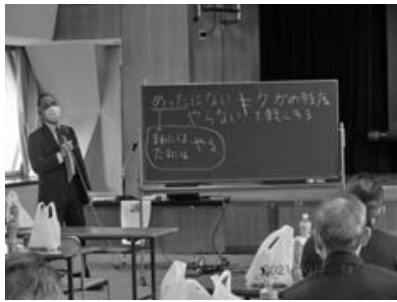
主催者開会挨拶 北海道協会副会長 兼 苫小牧地区 水野光宏会長



苫小牧労働基準監督署 加藤 孝 署長



労働安全衛生大会 参加者



(一社) 北海道安全衛生サービスセンター 吉村 良起 安全管理士



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 苫小牧地区 輪島 信男 副会長

2 北見地区大会

- (1) 10月13日(水) 13:30～「ホテル黒部」にて11社28名が参加して開催されました。

昨年に引き続き参加人数を絞り十分な換気を行った上での開催となりました。

冒頭、北見地区協議会 宮武会長から開会挨拶、北海道ビルメンテナンス協会 労働安全衛生会 島委員長より主催者挨拶をいただきました。

最後に北見地区協議会小林副会長より今回学んだことを他人事としてではなく自分のこととして考え行動していこうとの閉会挨拶があり大会は終了しました。

- (2) 講義……北見中央労働基準監督署 署長 十倉正直 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

○ 北見地区のビルメンテナンス業における労働災害は比較的多い状況となっ

ている。

軽度な危険も大きな危険につながる場合も多々ある。油断する事なく社内でも注意喚起を続けていただきたい。

対策としては、まずは転ばない事。年齢層に関わらずに職場全体で危機意識をもってほしい。

年齢が高めの方は身体の衰え等もあるので、自分の体力を過信せず十分注意をしながら仕事を進めてほしい。

労災が発生すると企業側は人的な損失に繋がり、従業員側は日常生活に影響が出てくる。

社会全体で労働災害自体を失くしていかなければならない。

- (3) 講演……北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

北見地区担当

専門役 安全管理士 橋本 秀利 様



開会挨拶 北見地区 宮武 亨丞 会長



主催者挨拶 北海道協会 島 典賢 労働安全衛生委員長



北見労働基準監督署 十倉 正直 署長



(一社) 北海道安全衛生サービスセンター 橋本 秀利 専門役



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 北見地区 小林 泰志 副会長

3 十勝地区大会

- (1) 10月21日(木) 13:30 ~ 「とち館」にて14社33名が参加し開催しました。

工藤事務局長の司会進行により、帯広地区 高氏会長の挨拶と北海道協会水野副会長の開会挨拶により開会いたしました。

本年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策を万全にし人数制限を設けての実施となりました。

講義・講演終了後、帯広地区小川副会長より閉会挨拶で終了しました。

- (2) 講義……帯広労働基準監督署 安全衛生課 唐澤直人 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

○ 労働災害発生件数全体として、帯広管内では令和1年度死亡災害13件と非常に多かった。

令和2年度は4件と減少となった。発生件数は令和2年度が561件と、非常に多い状況となっていた。

ビルメンテナンス業で見ると発生件数は概ね毎年10件前後となっていたが、令和3年度の9月末現在で既に10件となっており、対応が急務である。

事故型別では、過去10年、転倒40%、墜落・転倒27%と約7割を占めている。

特に冬季は多発傾向にある為、これからの対応がポイントになってくる。現場においても箇所に応じた具体的な対策が必要となるので、現場員にて確認をしてほしい。

帯広管内でも有害物質が原因の災害が発生しており取り扱いには注意が必要。

特にビルメンテナンス業では、清掃薬剤など使用の機会も多く、現場においても十分な研修と対策をお願いしたい。

- (3) 講演……曾根労働安全コンサルタント事務所 代表 曾根 敬夫 様より、「『安全第一』から考える労働災害の防止について」と題して、以下のような講演をいただきました。

- 労災事故の9割は人的要因（ヒューマンエラー）が関係している。①心理的要因として、人の記憶は、1時間で半分は忘れ、1日で3分の1になるが、長期記憶は31日経ても20%は残る。この20%に残るような話し方・教育が必要である。②生理的要因としては、疲労や睡眠不足、アルコール等があるので、注意が必要である。③組織的要因としては、チームの人間関係、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーションが大切である。
- こうしたヒューマンエラーをカバー

し、減少させるには、①フールプルーフ（間違った使い方をしてもし事故が起こらないような仕組み）を用意すること（高所作業用の道具が落下しないように紐で結わえておく等）、②フェールセーフ（仮にエラーが起きてても、周囲に損害や危険を及ぼすことの無い設計）をとることが必要である。

○ 不安全（危険）行動防止のポイントとしては、①知識不足を補う教育、②技能不足を補う訓練、③危険軽視（ルールに納得しない、皆やっていない、守らなくても注意しない、罰せられない）を生まない組織風土・考え方への改善が大切である。



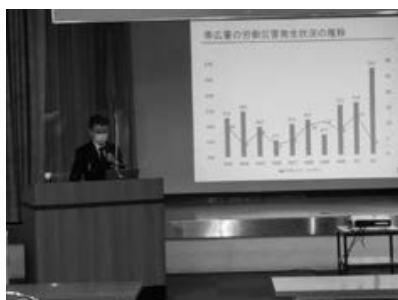
開会挨拶 北海道協会 水野 光宏 副会長



開会挨拶 十勝地区 高氏 英年 会長



労働安全衛生大会 参加者



帯広労働基準監督署 唐澤 直人 監督官



労働安全コンサルタント 曾根 敬夫 講師



閉会挨拶 十勝地区 小川 清 副会長

4 釧路地区大会

(1) 10月26日（火）13：30から釧路市生涯学習センターにて釧路地区労働安全衛生大会を会員、非会員合わせて15社31名の参加をいただき開催しました。

開催に当たり、臼井釧路地区協議会会長から、最近の労働災害の発生状況等に関するお話を含めて開会挨拶がありました。

また、水野北海道ビルメンテナンス協会副会長から、労働災害防止には妙薬はなく、労災保険料を上げないように、安全には注意が必要とのお話を含めて主催者挨拶がありました。

講演終了後、全員で安全作業を誓い合い、緒方釧路地区協議会副会長からのメッセージを小泉事務局長が代読し、令和3年度釧路地区労働安全衛生大会は閉会いたしました。

(2) 講義……釧路中央労働基準監督署 第2

方面 安全専門官 瀬戸 神津太郎 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、以下のような講義をいただきました。

○ 釧路管内の清掃業全体では、前年件数と比較して減少傾向となっている。

ビルメンテナンス業の事故の型別では、ここ10年の統計で転倒が5割近くとなっている。

毎年2、3月は発生件数が増加となる為、冬季の対策がカギとなる。

道内全域での死亡災害例として、屋外清掃中での墜落事例・脚立からの転落事例・一酸化炭素事例・凍結路面での転倒事例が過去に発生している。

軽度な災害が重篤なケースに繋がる事もあり、十分な対策と安全意識を常に高くもってほしい。

労働対策は日々の積み重ねが大事であ

る。本大会が安全管理を見直す機会となれば幸いである。

- (3) 講演……日本労働安全衛生コンサルタント会 北海道支部 労働安全コンサルタント 佐藤 尚武 様より、「KYT（危険予知活動）そしてRA（リスクアセスメント）へ」と題して、以下のとおり講演をいただきました。

ビルメンテナンス業における労働災害の大部分は転倒、墜落・転落によるものである。

災害発生のメカニズムを読み解くと災害に至るプロセスを見つける事が出来る。

不安全な状態に不安全な行動が重なった

際に労災は発生するものだが、事故が起こった後に検討するのではなく、発生前にKYT（危険予知活動）、RA（リスクアセスメント）により改善を目指していただきたい。職場内にて、いつか起こりえる状況を検討して、都度対処する。

現状でたぶん大丈夫だと放置するとそれが要因の一つとなり、大事故に繋がってしまう。

『気づき』があったら『改善』へ。

以上の通り、実際の現場での経験を元にKYT基礎4 R法など簡潔にご教授いただいた。



開会挨拶 釧路地区 臼井 尚樹 会長



主催者挨拶 北海道協会 水野 光宏 副会長



労働安全衛生大会 参加者



釧路労働基準監督署第2方面 瀬戸 神津太郎 安全専門官



労働安全コンサルタント 佐藤 尚武 講師



閉会挨拶 釧路地区 緒方 秀 副会長欠席の為 小泉 和史 事務局長代読

5 札幌地区大会

- (1) 11月2日（火）13：30～「ビルメンテナンス会館」にて24社34名が参加し開会。

三浦理事の司会進行で始まり、北海道協会岡田克己会長の開会挨拶により開会しました。

講義・講演終了後、札幌地区田中芳章会長より閉会挨拶があり、講義・講話の内容を各社の安全衛生活動に積極的に活用いただき、災害撲滅に活用願いたいとし、閉会しました。

- (2) 講義……札幌中央労働基準監督署 安全衛生課長渡邊哲也 様より「災害事例と労働災害防止活動のポイント」と題して、以下のような講義をいただきました。

労働災害防止活動のポイント」と題して、以下のような講義をいただきました。

- 労働災害で問われる企業の責任（刑事上の責任、行政上の責任、民事上の責任、補償上の責務、社会的な責任）があり、職場の「安全風土・安全文化」形成の3つの柱である①トップの姿勢、②管理者による実践、③職場自主活動の活性化の安全活動が重要である。「無災害に不思議な無災害はあるが、災害に不思議な災害はない」という話もあり、災害には必ずその原因とそれに至る問題が存在し、その問題には、見えないものもある。

それを発見して、こつこつと対策を取っていき努力こそ「災害ゼロ」「危険ゼロ」に繋がる。

- 北海道の災害発生状況を見ると、令和2年の死亡事例は51件と過去最低を記録したが、人口に比べると、死亡事故の発生率は高い。その原因は、強いていならば冬の凍結路面である。ビルメンテナンス業では、過去10年間で6名が死亡したが、そのうち4件が墜落・転倒により、転倒によるものも1件あるので、

これからの季節、十分に注意してほしい。

その他高年齢従業員の健康管理や実際の労働災害事例のご紹介などいただいた。

- (3) 講演……曾根労働安全コンサルタント事務所 代表 曾根 敬夫 様より、「『安全第一』から考える労働災害の防止について」と題して、講演をいただきました。

講演内容につきましては、③十勝地区安全衛生大会のページに掲載しております。



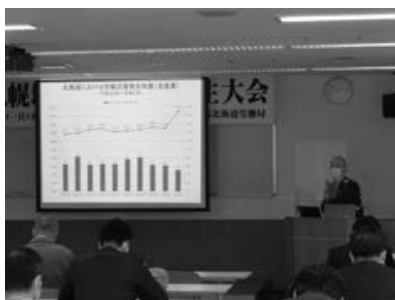
主催者挨拶 北海道協会 岡田 知己 会長



労働安全衛生大会 参加者



労働安全衛生大会 参加者



札幌中央労働基準監督署 渡邊 哲也 安全衛生課長



労働安全コンサルタント 曾根 敬夫 講師



閉会挨拶 札幌地区 田中 芳章 会長

6 旭川地区大会

- (1) 11月5日(金) 13:30～「北洋ホール」にて20社60名が参加し、佐々木事務局長の司会進行で始まり、旭川地区山中智雄会長の開会挨拶、北海道協会労働安全衛生委員会 島 典賢委員長の主催者挨拶があり開会しました。講義・講話終了後、旭川地区山田知央副会長の閉会挨拶では、労働災害撲滅を誓い労働安全大会を閉会しました。
- (2) 講義……旭川労働基準監督署安全衛生課長 傳福秀敏様が「ビルメンテナンス業における労働災害の防止について」と題して、以下の諸点を教示された。

北海道労働局長から、8月20日に「死亡労働災害撲滅に向けた緊急要請」が発出され、①企業トップや責任者のパトロー

ルにより、作業計画、転落防止等の措置の総点検、特に転落防止のためのヘルメット着用の推進を実施すること、②安全衛生管理体制の確立と安全衛生委員会での検討・改善を速やかに実施すること、③労働者の危険への意識、安全確保への意識を高めることを求めている。これに従った取り組みをお願いする。

旭川労働基準監督署管内のビルメンテナンス業の労災は、全労災事故の3%であるが、転倒、転落が8割を占め、特に12月から翌年2月の間が多いので、これからの季節、注意されたい。

労災事故の被災者の25%を、60代以上のシニア世代が占めているので、段差を解消したり、大きな文字での注意書きを掲示

するなど、高齢労働者に配慮した職場環境づくりをお願いする。

冬季間は、転倒事故が多く、特に、駐車場を重機できれいに除雪した後の路面で発生することが多いので、ご注意を！

- (3) 講演……若本労働安全コンサルタント事務所代表 若本憲隆様が、「安全作業の確立と健康の保持について」と題して、以下の諸点について、お話をされた。

不注意や錯覚といった何でもないエラーが、事故に結びつくことが多い。

これらは、知識・技能の不足・行動の不備、そしてヒューマンエラーによる。これを取り除いていこうというのが、リスクアセスメントである。

安全衛生規則の一部が改正され、足場関係では、足場からの墜落防止措置や安全点検等の充実が求められ、また、転落防止用具関係では、安全帯が墜落制止用具に変わり、安全性の強化が求められている。

「ほう（報告）れん（連絡）そう（相談）」が安全順守の基本である。

講師独自の主張として、5S運動（整理・整頓・清掃・清潔・習慣）の推進を掲げられた。

健康の保持が大切…「病は気から」というが、職場のストレスを軽減することが大事。

ストレスの解決法としては、休みの日に趣味や趣向に熱中したりという方法もある。

ストレスを持続させないためには、他人ができる仕事は他人に任せる、休日は仕事を忘れる、午前午後一度は息を抜くという方法がある。また、健康十訓やがん予防12ヶ条というのもあるので、参考にされたい。

仕事の開始前には、ストレッチをするなど、暖気運転をしてから仕事に入るようにしてほしい。



開会挨拶 旭川地区 山中 智雄 会長



労働安全衛生大会 参加者



主催者挨拶 北海道協会 島 典賢 労働安全衛生委員長



旭川労働基準監督署 傳福 秀敏 安全衛生課長



労働安全コンサルタント 若本 憲隆 講師



閉会挨拶 旭川地区 山田 知央 副会長

7 室蘭地区大会

- (1) 11月15日(月) 13:30～「アパホテル室蘭」にて開催され、8社26名が参加しました。大会は、中川正夫事務局長の司会進行により、室蘭地区安藤則昭会長の開会挨拶、北海道協会労働安全衛生委員会・島 典賢委員長の主催者挨拶と進められました。講義・

講話終了後、室蘭地区藍原 聡副会長の閉会挨拶では、下火とはいえ、新型コロナウイルス感染防止を呼びかけ、労働災害撲滅を誓って、労働安全大会を閉会しました。

- (2) 講義……室蘭労働基準監督署副署長 阿部 香矢様が「ビルメンテナンス業の労働災害

防止について」と題して、室蘭地区の災害状況を解説、ビルメンテナンス業での発生件数は、令和3年10月末まで（暦年）で4件と前年同期の9件に比べ、減少しているが、これからの時季、凍結や降雪により転倒事故が増える（ここ2、3年、ビルメン業の労災事故の40%以上）ので、「4つのS」即ち整理・整頓・清掃・清潔を心がけるとともに、高さ2m以上の場所で作業床が設置できない場合は、作業準備段階か

ら、ロープで身体を保持する「ロープ高所作業」を実施すること、また、管理、監督者は、定期的に作業現場に赴き、危険の芽を摘むよう心掛ける必要があることなどと話された。

- (3) 講演……北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。室蘭地区担当 専門役 安全管理士 橋本 秀利 様



開会挨拶 室蘭地区 安藤 則昭 会長



主催者挨拶 北海道協会 島 典賢 労働安全衛生委員長



室蘭労働基準監督署 阿部 香矢 副署長



(一社) 北海道安全衛生サービスセンター 橋本 秀利 専門役



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 室蘭地区 藍原 聡 副会長

8 函館地区大会

- (1) 11月22日（月）13：30～「五島軒 本店」にて、開催され、23社32名が参加しました。

大会は、函館地区 野戸理事の司会進行により、函館地区 成田会長の開会挨拶、北海道協会 岡田会長の主催者挨拶と進められました。

来賓として、函館労働基準監督署 署長の菊池様より挨拶をいただきました。

講義・講話終了後は、函館地区 田中副会長の閉会挨拶で終了となりました。

- (2) 講義……函館労働基準監督署 安全衛生課長 井森一晶 様より「ビルメンテナンス業における労働災害防止について」と題して、ご講義いただきました。

函館管内において、令和2年1月～令和

3年10月までの事故型別の集計では、転倒が30%、墜落・転落が26%となっている。転倒では、この内87.5%が骨折。墜落・転落では57.1%が骨折。どちらも打撲だけで終わっていない状況であった。過半数を占めるこの2点を重点対策すれば、大幅な事故の減少が見込める。

厚生労働省では、「脚立を使う前に」や「はしごを使う前に」、「あなたの職場は大丈夫？」などの各チェックシートを用意している。是非、各職場において活用していただき現場の職員全員の安全意識を高く保ってほしい。

墜落・転落事故は決して高い場所から発生している訳ではない。

函館地区においては低いところからハシゴ・脚立から転落するケースが大半となっ

ている。

年齢層の高い従業員がビルメンテナンス業にも多くいらっしゃると思う。

エイジフレンドリーガイドラインやエイジアクション100など、高齢労働者の安全や健康確保のガイドラインを策定しているので、積極的な活用をお願いしたい。

化学物質による労働災害も毎年発生しているところだが、まずは管理者・現場責任

者が用法・要領をしっかりと理解した上で、従業員に分かりやすく説明していただきたい。事故が起きないように掲示の工夫や場所の設置など対策していただきたい。

- (3) 講演……北海道安全衛生サービスセンターの講演は、道内4地区の内容を、安全衛生大会先頭ページに掲載しております。

函館地区担当 専門役 安全管理士 橋本 秀利 様



開会挨拶 函館地区 成田 豊 会長



主催者挨拶 北海道協会 岡田 知己 会長



函館労働基準監督署 菊池 俊文 署長



函館労働基準監督署 井森 一晶 安全衛生課長



(一社)北海道安全衛生サービスセンター 橋本 秀利 専門役



労働安全衛生大会 参加者



閉会挨拶 函館地区 田中 千尋 副会長

● 令和3年度 労働災害防止論文 金賞 ●

「労災の起きにくい環境づくり」

中央ビルメンテナンス株式会社 安部 拓見

3年前まで、私は作業スタッフとして現場で働いていました。当初は時間がかかっていた作業にも少しずつ慣れ、初めて上司から褒められ新たな仕事を任された時は、とても嬉しかったのを覚えています。そして、周囲の期待に応えなかった私はある日、時間内に何とか業務を終えるべく急ピッチで作業を進め、不注意から大型台車との衝突、あわや労災事故を起こしかけてしまったのです。

現在は現場を離れ、管理部門の労務事務員として労災事故の集計や手続を担当しています。業務を通じ、3年前の当時いかに自らの行動が浅はかで、重篤事故につながりかねないものだったかを改めて知り、恥じる思いです。その気持ちを忘れず、労災を減らすにはどうすべきか考えながら、業務に取り組んでいます。

数多くの労災事例とその顛末を知る中で、現場にいた頃には知りえなかったデータや状況が見えてきました。特に私が注目したのは、労災発生原因の大半が「不注意」によるものだという事です。ビルメン業界では同じ作業の繰り返しが多いことから、経験と共にスタッフの手際は徐々に洗練、効率化されていきます。しかし、それは同時に慣れや油断が生じやすくなるということでもあり、これがいわゆる「不注意」に繋がる大きな要因だと考えられます。もちろん、常日頃から気を付けて作業するようスタッフへの注意喚起は欠かせませんが、人の手で行う作業が中心である以上、この「不注意」を完全に無くするのは現実的になかなか難しいように思えます。

そこで、別のアプローチから労災防止を考えます。不注意から発生した労災事故について、その不注意に至る理由や背景がどこかに潜んでいないか検証すること、ひいては「環境そのものを労災が起きにくいものに改善する」取り組みが有効ではないでしょうか。現場での作業経験と労災事故のデータ集計結果から、私が考える施策を以下に提言します。

まず、事故の発生原因をしっかりと明確にする

ことです。「不注意」が原因だとした場合、「疲れで集中力が散漫になっていた」のかも知れませんし、「急いでいて丁寧に作業できなかった」のかも知れません。「多少の注意はしていたが、本人ではどうしようもなく起こるべくして起こった」可能性もあります。当たり前のことですが、再発防止策の検討には一歩踏み込んだ原因の究明が不可欠です。

次に、環境や仕組みに不備がないか検証します。具体的には「業務量に対する作業時間や人工数、人員配置が適切であったか」、「事故が起こりうる危険個所を把握できていたか」、「作業手順やマニュアルがあり、その手順は適正か」等が考えられます。これらを正確に把握するためには、日頃から何でも忌憚なく言い合えるスタッフとの信頼関係、縦と横の繋がりの構築も当然必要となるでしょう。

そして、これらを踏まえ事実関係を確実に記録し、見えてきた課題から再発防止策を講じます。事故1件1件を省みたデータの積み重ねから分かることもあり、そこから新たな施策のヒントが得られる可能性もあります。また、事故発生から再発防止策までの一連の流れはスタッフへ情報共有し、「他人事ではなく、我が身に起こりうること」として聞いてもらうことで、注意喚起の意味合いが更に増すものと思えます。

令和2年度、当社は残念ながら過去5年間で最も多い労災発生件数を記録してしまいました。奇しくも、コロナ禍による心身の疲れが大きかった1年です。私は、これも隠れた事故発生原因のひとつとしてあった気がしてなりません。上記施策は労災防止だけでなく、コロナ禍の今だからこそ殊更求められる「働きやすい職場の環境づくり」という観点からも効果があると考えます。

今年は1件でも多くの労災事故を防止し、現場のスタッフが辛い思いをしないで済むよう、注意喚起を行って参ります。

● 令和3年度 労働災害防止論文 銀賞 ●

「ヒヤリハットからの気付きと事故防止」

北海道クリーン・システム株式会社 齋藤春菜

私はJRタワーの中で、『Tコメント』としてお客様へのご案内と館内の清掃業務を行っています。お困りのお客様を見つけた際は、他のお客様にぶつからないように気を付けながら近寄り、声を掛けてご案内をしています。

館内を巡回していると、お客様が突然立ち止まったり、方向転換をしたり、またはお店から周囲を確認せずに出てきたりと、危険なことが多く起こるため、周囲をよく見て緊張感を持ちながら巡回を行っています。なので、新人研修では、巡回中に起こり得るヒヤリハットに触れながら業務を教わります。

例えば、館内のガラス扉を拭く際は、周囲にお客様がいないかを確認してから、両手で扉を引いて開けます。ガラスを拭く際は、90度まで扉を開け足先をドアストッパーにし、扉を押さえながら拭きます。また、閉める際は、周囲の状況を確認してから、最後まで両手で閉めます。この基本動作は、1か月の研修期間にすり込まれているため、ガラス扉でのヒヤリハットは全くと言っても良い程、経験した事はありませんでした。

しかし、この当たり前になっていた動作で「事故なんて起こさない」「大丈夫だろう」と過信したために、事故になり兼ねないヒヤリハットが起きました。

その日は、普段通りにガラス扉を拭き終え、閉めるために、前後からお客様が来ていないか確認し閉め始めたところに、前方からお客様が来ていることに気が付き、慌てて扉を開けました。もし、気が付かず、開いた扉から手を離していたら、危うくお客様を扉に挟めてしまっていたと思うと、ヒヤッとしました。

私は、この事から何故、周囲を確認したのにも関わらず、このようなヒヤリハットが起きたのかを考えました。一番の原因は「注意不足」です。私が拭いていたガラス扉には、営業時間が書かれた白い大きなラミネートが貼られていました。前方を確認したタイミングでお客様の

姿がラミネートと重なり、見えなくなっていたのです。『奥にいるかもしれない』という発想に至らず、前方を確認したつもりでいただけで、きちんと確認していませんでした。

このことで、周囲を確認した後も「もしかしたら」と考えて行動しなければいけないと痛感しました。

このヒヤリハットを体験してから、ラミネートで見えにくい部分は目視でききちんと確認できるように、扉から少し顔を出して確認するようにしています。また、同僚にもこの事柄を伝え、注意してもらうことにしました。後方確認をする際も、ただ後ろを見るのではなく、「思わぬところからお客様がくるかもしれない」という気持ちで、更に周辺を見渡してから、開閉の動作を行っています。

現在は、多くの場所で新型コロナウイルスの感染対策として設置されている「消毒液」ですが、液体のため床に零されることも多く、床が滑りやすい状態になっていたり、設置台がスタンドタイプでコンパクトな分、倒れやすかったりと、新たに気を付けなければならない事が増えました。このような状況の変化に対応していくためにも、小さな変化も見逃さず、疑問に感じたことは、職場で共有し事故防止に努めています。

また、各々が体験したヒヤリハットを詰所に掲示することで、自身では経験した事がないヒヤリハットを知ることが出来、その場所や場面では注意し対応するようにしています。

最後に、日常的に起こるヒヤリハットが本当の事故にならないよう、普段行っている確認作業や動作の意味を改めて考え、これからも「もしかしたら」という気持ちを忘れずに行動します。また、自らの安全と施設をご利用頂くお客様の安全を守り、気持ちよくJRタワーをご利用できるように、事故防止とともに快適な空間づくりに努めます。

● 令和3年度 労働災害防止論文 銅賞 ●

「一声の大切さ」

北海道クリーン・システム株式会社 若原 智美

私は現在入社して7年目、札幌駅直結の大型商業施設で清掃をしています。清掃といっても商業施設なので、お客様と接する機会が多い事から、日々、お客様に対して怪我や事故の無いように注意しながら、仕事をしています。しかし、今から約5年前、仕事が終了し後片付けをしている途中で、私自身大怪我をしてしまいました。

概要は、液体石鹼の入った一斗缶を、固定されていない枠の中へ入れようとしていたのですが、上手く入らずに困っていた方がいた為、お手伝いをしようと思い、その枠の下方を指で押さえました。しかし、その方から手を離す指示が無く、突然一斗缶が離され、私の指の上に落ちて来ました。咄嗟に指を枠から引きましたが遅く、指から出血し、更に指が切断しかけていました。幸い施設内に病院があり、そこですぐに手当を受けることができたので、今現在指は完治していますが、もしも近くに病院が無い場所で働いていた場合、私の未来は少し変わっていたかもしれません。

毎朝、作業前の朝礼で、上司から事故や怪我の無いように言われていましたが、業務終了後の出来事でしたので、自分でも予測出来ずに不注意だったと反省しています。

事故時、お互いにいつ手を離すか声を掛け合っていれば、このような事にはならなかったかもしれません。また、仕事が終了しても「いつ」「どこで」「誰にでも」危険な事はあるという体験をしました。どのような時でも「声を掛け合う」という事が、事故や怪我を防ぎ、職場の安

全に最も重要な事であると学びました。「声を掛け合う」とは、事故や怪我を防ぐだけではなく、お互いを思いやる気持ちが生まれ、良い職場環境作りにも繋がるのではないのでしょうか。

仕事をする上で大切な事は、自分にとってやりがいのある仕事ですが、それにはやはり良い職場環境、つまり人間関係だと思います。人間は気持ちを「言葉」で表す事が出来る生き物です。会話も無く殺伐とした環境の中では、どの仕事も楽しくなく、やりがいを感せず、安全作業に目を向ける事も出来ないのではないのでしょうか。私達は「家族」には声を掛けます。それと同様、職場の仲間にも「声を掛ける」事が、重要なコミュニケーションだと思います。他人同士の集まりだからこそ「意識」し、「声を掛ける」事が必要です。

事故が無く明るい職場作りには、一人一人の意識が重要です。誰かが「声掛けをする」のではなく、自分から積極的に「声掛けをする」意識を持つと、周りもきっと自然と「声掛け」をするようになるのではないかと考えます。

また、職場の同僚だけではなく、同職場で働くショップスタッフの方にも、「おはようございます」や「お疲れ様です」等の声掛けをする事でコミュニケーションが取れ、施設全体の輪が強まるのではないのでしょうか。

私は、過去の自分の体験で学んだ事を生かし、これから積極的に一声掛ける「大切さ」を伝えていき、安全作業と明るい職場作りに取り組んでいきたいです。

● 令和3年度 労働災害防止論文 佳作 ●

「コロナ禍での労災防止を考える」

中央ビルメンテナンス株式会社 鎌田 敬之

目下、世界中を苦しめている新型コロナウイルスにより、我々の生活は一変した。マスクは当たり前のように着用し、手指消毒のためのアルコールもいたるところに設置された。事務所には、体温測定を自動で行ってくれる検知器が設置され、毎朝、「正常な体温です」の機械音声を聞く異質な日々にもすっかり慣れた。

このように、我々の取り巻く作業環境はコロナ禍により、大きく変容したが、労災との関連性も注目すべきところである。特に、この猛暑のさなか、マスクをした状態での作業は現場スタッフにとって大きな負荷がかかるし、ただでさえ様々なことに気を遣う必要のある現場、配慮すべき事項が一つ増えただけでも大変なもので、コロナ対策を抱えながらの現場管理には、これまで以上に、管理者の意識付けが重要になってくる。コロナ禍での暮らしには、一定程度「慣れた」かもしれないが、労災とはあらゆる現場のあらゆる場所に発生する可能性があり、決して、その作業状況に慣れてしまっただけではより危険性が高まるものである。その、コロナ禍での労災対策として、私が提言したいことは3つある。

1つは、「基本を忠実に守り、作業を行う」ことである。コロナ禍ではこれまで気にならなかったことも気になってしまうことがどうしても増えるなか、できる限り、平常心を保ち、作業に当たることが肝要である。

2つめは、その平常心を保つために、なにより新型コロナウイルスに関する情報について、根拠のないものに振り回されず、行政や、協会等が発信する確かなエビデンスのある情報を取り入れ、社員に周知するとともに、管理者自らがその啓発に努力することである。現場で働く社員を安心させることが目的である。

3つめは、コロナ禍を機に、今まで見えなかつ

たものが見えてくるということである。労災防止の観点におけるあらたな視点をもてないか、ということである。コロナ禍は、人類全体に行動変容を迫るようなものであり、ピンチはチャンスと簡単に言える状況ではないものの、コロナ禍に対応するなか、労災を防ぐ新たな視点とは何かを常に模索する管理者の姿勢が、建設的な労災防止策とコロナ対策の捉え方ではないだろうか。コロナ対策をしているなかで、労災防止にも繋がった、という事案が一番、理想的である。

その視点で考えると、キーワードはITではないだろうか。コロナ禍は、日本全体のIT推進にも拍車をかけている。ITを活用した安全管理で労働災害を防ぐ。例えば、建設現場の高所作業では「転落・墜落」、製造業の工場では重機への「挟まれ、巻き込まれ」などの労災が考えられるが、スマートフォンやセンサーなどのIOT技術を活用することで、作業者の位置や危険な重機との接近などを検知でき、現場管理者へ素早く状況を伝える作業員安全支援システムが、すでに実現されているところもあると聞く。ビルメンテナンス業界においても、作業員の安全確保のために、デジタル技術を取り入れていくことが、労災防止に対する、将来を見据えた取り組みになるのではないだろうか。最近では、IT化とは異なる、DX（デジタルトランスフォーメーション）といった概念が一般的になってきており、ますます、デジタル技術の活用は重要性を増している。

私は、100年に一度と言われる、未曾有のコロナ禍というパンデミックを、ビルメンテナンス業の在り方考える好機と捉えることが、重要なことと考えている。今後もビルメンテナンス業の発展に、会社を通して尽くしていきたい。

● 令和3年度 労働災害防止標語 入賞者 ●

金賞

誰かより 気づいたあなたが まず確認

中央ビルメンテナンス(株)

金 田 美 技

銀賞

危険の芽 皆で摘み取る 報・連・相

(株)キタデン

石 黒 隆一郎

人のヒヤリは、自分のヒヤリ みんなで共有 安全作業

北海道クリーン・システム(株)

柳 川 彩

銅賞

あいさつで 気持ちの交流 広がる笑顔

北菱産業埠頭(株)ビル管理部

野 口 理 恵

焦らず 無理せず 油断せず みんなで取り組むゼロ災害

北海道クリーン・システム(株)

松 本 恵 美

あわてず あせらず 手を抜かず ルールを守って安全作業

日本クリーン北海道(株)

酒 井 和 子

大きな事故の小さな予兆 初心にもどって安全確認

ホクビサービス(株)

米 田 安 菜

危険の芽 見る目 気づく目 予知する目

日本クリーン北海道(株)

伊 原 優一郎

佳作

朝の挨拶 輝く笑顔 “絆” 深まる無事故の誓い	協和総合管理(株)	高橋俊雄
焦らず 慌てず 深呼吸 心のゆとりで	ゼロ災害 (株)クリーン開発	工藤香織
危ないぞ！安全管理の 合言葉	(株)ベルックス	工藤幸喜
慌てるな 急ぐ心に ブレーキを	協和総合管理(株)	宮下雅美
安全に ショートカットはありません 一步一步 確実に	(株)ベルックス	笠羽通聡
安全は ひとつひとつの積み重ね みんなで築け	ゼロ災職場 ホクビサービス(株)	獅子原亮二
いつもと違う違和感に アンテナめぐらせ 危険予知	ダイビ(株)	池本由美子
変わる時代に 変わらぬ基本 初心に戻って 安全作業	日本クリーン北海道(株)	関原真菜美
災害は 小さなヒヤリの積み重ね	中央ビルメンテナンス(株)	佐々木朝美
シェアしよう あなたのやってる 安全確認	日本クリーン北海道(株)	岡崎廉
知らせよう！！俺のヒヤリはみんなのヒヤリ なくして目指そう	無災害 ホクビサービス(株)	小松一男
慣れた作業も油断せず 気持ち引き締め安全確認	(株)キタデン	近藤淳一



各地区協トピックス

札幌

●札幌市児童相談所への指定付き寄付の贈呈

平成22年度から毎月9月に実施していた『児童養護施設へのボランティア清掃』が今年度はコロナ禍による緊急事態宣言の為、実施できなくなったため、本年度は市内5児童養護施設にそれぞれ商品券を寄付することとし、これらの施設を所管する札幌市児童相談所を通じて、贈呈することにしました。（札幌市に対する指定付き寄付）

この市内5児童養護施設は、国や地方自治体の公的支援を受けて運営されており、『保護者の何らかの事情により、家庭で生活することが困難となった1歳から18歳までの子供達が生活する児童福祉施設』です。

寄付者として、田中芳章会長以下、宮嶋秀行副会長、大八木達也副会長、山本有希理事、横田智彦理事にて伺いました。

贈呈の際は、山本健晴 児童相談所担当局長及び山田剛地域連携課長が出席され、司会進行を同課の町田達哉管理係長が務められ、感謝状を頂きました。



【寄付施設】

- ・札幌市育児園（札幌市南区藤野）
- ・札幌南藻園（札幌市中央区界川）
- ・柏葉荘（札幌市北区篠路）
- ・興正学園（札幌市北区新琴似）
- ・羊ヶ丘養護園（札幌市豊平区月寒東）

●秋元市長を囲む会

令和3年12月9日、「第1回秋元市長を囲む会」を札幌グランドホテル玉葉の間にて開催しました。

従来秋元市長とは昼食会を開催していましたが、感染状況の鎮静化から2年ぶりの開催となりました。

冒頭挨拶にて札幌地区協議会会長の田中芳章より、札幌市入札制度（総合評価制度）の見直しの要望、業界が直面している人手不足などの諸問題などの説明を陳情しました。

続いて秋元市長より、入札制度を含む業界の現状を再確認した上で、業界に



は品質の高いサービスの提供を以って札幌市のまちづくりに貢献を期待しているとの激励の言葉を頂戴しました。

また、札幌市の更なる発展を掲げ2030冬季オリンピック招致を目指す事、環境整におけるビルメンテナンス業界の協力が不可欠であることのお話も頂戴し、我々業界人としての大きな使命を改めて認識する会になりました。

今後も秋元市長とは継続的に意見交換の場を積極的に設け、様々な情報交換及び共有の機会としたいと考えています。



●札幌市情報交換会の実施について

令和3年12月13日北海道ビルメンテナンス会館にて、札幌市より管財部契約管理課長含む同部署3名の方々をお招きし、札幌地区協議会からは会長の田中芳章をはじめ5名の出席で入札制度に関する勉強会を開催しました。

事前に実施した各自治体行政機関向けのアンケート及び、札幌地区協議会会員各社へのアンケートを元に各自治体によって当協会の認知度、更には積算基準適用の有無にばらつきが生じている事や、多くの企業が参加を見送っている総

合評価制度の問題点などを簡潔に説明しました。

札幌市担当者からは、行政側は捉えづらい実態や問題の解決に、今後このアンケート調査結果を活用させて頂きたいと非常に前向きなお言葉を頂きました。

また、抗菌・除菌コーティング施工についての質問もあり、SIAA規格を含むエビデンスのある安全な施工の推進を提案しました。

今後も定期的に勉強会を継続し、業界の総合的な意見を行政に発信する機会としていく予定です。



釧路

●北海道釧路鶴野支援学校の清掃講習

例年行っております鶴野支援学校の清掃講習を今年も10回程の予定で開催しています。

第7回ビルクリーニング校内技能大会兼令和3年度アビリンピック北海道大会釧路鶴野予選会にも運営として参加しています。

各学年ともに教えられたことを確実に、

正しい作業方法を理解していてメキメキと上達しています。今後も釧路地区協議会では、運営アドバイス、練習へのサポート、競技審査員派遣等を行い、大会運営に寄与していく予定です。



●清掃奉仕活動

昨年度は中止となりました清掃奉仕活動を、本年度は新型コロナウイルス感染症対策を万全に各地区実施しました。

丁寧で気持ちのこもった清掃により、なかなか清掃できないような箇所も行き、関係者皆さん大変喜んでいただきました。

《別海地区》

7月31日(土)に会員企業から4名の参加をい



《釧路地区》

8月5日(木)に会員13社41名にて、『桜ヶ岡保育園』『新富士保育園』『鳥取保育園』『音別認定こども園』『東部子育て支援拠点センター』の効率保育園等6施設のガラス清掃を行いました。

開催にあたりセレモニーを用意いただき、また、終了後には釧路市より感謝状をいただきました。



●釧路地区労働安全講習会

10月27日(水)に釧路市交流プラザさいわいにおいて、労働安全研修会を開催しました。講師に、さとう安全コンサルタント代表 佐藤 尚武 様を招いて「危険予知訓練 (KYT)」を主題として、受講者一人一人の発言、行動を伴うアクティブラーニング方式で研修会が進められました。



ただき『別海町立上風蓮へき地保育園』のガラス清掃を実施しました。保育園の職員だけでは出来ないような高所ガラス・サッシ清掃なども行い園長先生からも笑顔で御礼の言葉をいただきました。

《中標津地区》

8月2日(月)に会員企業より12名の参加をいただき『中標津空港』『東7条公園』『丸山公園殉公者碑』『中標津町役場』にて石碑清掃を実施しました。



《根室地区》

9月1日(水)に会員2社6名にて、『根室市立まつもと保育園』の外面ガラス清掃を実施しました。

保育園内部も大変綺麗になり、後日、根室市より礼状をいただきました。



ツールミーティングの手法を実演することにより、各人が徐々に発言し易い環境ができ、それぞれの意見を積極的に交換することができました。

講習を通じて他者の意見を聞くことにより、自分では思いつかなかったことや、気づかなかったことに気づかされ、チームとして労働安全に取り組む手法を習得することができたと思います。

十勝 ●ビルメン・警備業合同ゴルフ・パークゴルフの開催

北海道警備業協会帯広支部との合同により、7月12日(月)にゴルフ・パークゴルフコンペが開催されました。

ゴルフは帯広白樺カントリークラブにて午前10時より12名が参加し、パークゴルフは札内

川河川敷のはらっぱ36コースにて午後1時より19名が参加して行われました。

(本年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ビール会・表彰式は中止)



苫小牧 ●清掃奉仕活動（勇武津資料館）の実施報告

令和3年8月19日(木)13:30より「苫小牧地区協議会」にて、例年実施の清掃奉仕活動（勇武津資料館及び蝦夷地開拓移住隊士の墓）において、実施しました。

当日は、晴天にめぐまれ、会員10社、31名が参加し、水野会長の挨拶の後、館長から感謝の言葉を頂き、作業開始となりました。

昨年度に引き続き高圧洗浄機を導入し「資料

館」「移住隊士の墓」「地蔵堂」の各持ち場に分かれ、参加者全員が完成度の高い清掃作業と安全第一を心がけ、協力しあいながら行いましたが、今年も新型コロナウイルス対策としてマスクを着用しながらの作業となった為、熱中症と新型コロナウイルス両方に対して最新の注意を払いながら、今年も無事に終了することができました。



● 苫小牧市・苫小牧地区 B M協議会 意見交換会の実施報告

令和3年10月18日(月)14:00より、苫小牧市役所にて、苫小牧市財政部契約課と、ビルメンテナンス業における主に入札制度に関する内容に関して、意見交換会を行いました。

以前から、毎年のように大幅に引き上げられる最低賃金の影響を考慮して「スライド制度の導入もしくは複数年契約の見直し」に関して要望していましたが、このたび現行の5年契約を次年度入札執行分から3年契約へ変更することに決定したというご報告を苫小牧市財政部財政

課より頂きました。

また、特定建築物等の重要な業務において、知事登録されていない業者の入札参加禁止や、ダンピング防止のための最低制限価格の引き上げ等、前向きに検討して頂ける旨の回答を頂きました。

その他、施設の変化（老朽化等）による予算の変更や仕様の見直し、大規模な施設の業務を複数業者に分けて委託するのではなくJV等の団体による受注方式におけるメリット等、色々な議論が活発に交わされました。



函館

● ビルメン函館地区協議会ゴルフコンペ

日時 令和2年7月17日(金) 9:00～
場所 大沼レイクゴルフクラブ

令和2年度のゴルフコンペはコロナの影響により5月は中止となりましたので今回が1回目となります。



当日は天気にも恵まれ協会員、賛助会員あわせて12社12名が参加して頂きました。

大沼レイクゴルフクラブは、駒ヶ岳のすぐ傍にある大自然を感じられる美しいゴルフ場で3つのコースから構成されているため、何度来ても飽きずにラウンドすることができます。

3組に分かれてスタートし、チップインバーディ等もありながら気心知れたメンバーで怪我もなく楽しいゴルフが出来ました。

優勝は北海道クリーン開発の坂本支社長、準優勝はペンギンワックスの沼崎マネージャーでした。

今年に限っては状況を見ながらになりますが、コロナ対策をしつつ可能な限りイベントも実施していきたいと思えます。

12インチオービタルポリッシャー ジャンピー



【特徴】

①横ブレを抑えた安定した動作

従来のポリッシャーの様に左右に振られることがなく、初心者の方や女性の方にも、安全かつ簡単に操作がおこなえます。

②あらゆる床面の表面洗浄に対応

パットを交換するだけで、化学床、カーペット、フローリング、石材など様々な床面に対応。

③取り回しが楽なコンパクトタイプ

重量13kgで持ち運びらくらく。大型ポリッシャーでは困難だった場所も、手軽に洗浄できます。

【仕様】

- ・電源 : AC100V
- ・消費電力 : 290W
- ・パッドサイズ : 12吋 (13吋取付可)
- ・回転数 : 1450回/分
- ・電源コード長 : 7.5m
- ・本体サイズ : W315 x D310 x H1110mm
- ・本体重量 : 13kg

■様々な場所で使用可能。・机の下、小規模店舗、廊下、踊り場、エントランス等



■ジャンピースターターセット (オプション品)

※濡れたパットを収納できる、ビニールバック付。

セット内容

- マジックパット ループロング 12吋
- パットグレー #1500 290mm
- パットオレンジ #3000 290mm
- スパーサーパット 290mm



株式会社 セイハン

本 社	T 003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14	T E L 011-873-2000 F A X 011-873-2100
旭川営業所	T 078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6	T E L 0166-35-7878 F A X 0166-34-7588
帯広営業所	T 080-2470	帯広市西20条南4丁目20-6	T E L 0155-58-2500 F A X 0155-58-3300
仙台営業所	T 984-0051	仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル	T E L 022-792-5211 F A X 022-792-5220
山形営業所	T 990-0831	山形市西田5丁目25-7	T E L 023-616-5800 F A X 023-616-5855
東京事業部	T 124-0023	東京都葛飾区東新小岩1丁目15-19 大一産業ビル	T E L 03-6657-7201 F A X 03-3691-0887



現場の相談や使い方の相談など、ぜひお電話お待ちしております。

ビルメンひろば

投稿者

株式会社 東洋実業釧路営業所 尾田 稔

ビルメン各位の皆様、日々お疲れ様です。

私も「お疲れの一人です」。さて、疲れてばかりいることは、良くありません。そこで今回は私自身の癒しであり、ストレス発散法を紹介いたします。

コロナ禍の中、仲間と一緒にワイワイと行かぬ中で一人ツーリングです。交通量の少ないルートを選び、のんびり、景色を楽しんで走っています。春から夏にかけて新緑がだんだん濃くなっていくのを感じながら、バイクで走り抜けることは爽快です。

バイクで走ることもさることながら、いじくりまわすことがとても好きです。整備点検はもちろんのこと今年マフラーを変えてみました。いろいろと思考錯誤して、やっと希望する排気音が出ました。



時には、カヌーです。

若いときは、屈斜路湖から釧路川を下り、弟子屈で一泊し次の日は五十石までと…私はいつかしたら、カヌープロになってしまいました。(もちろん、自称ですが…)

塘路湖から細岡までのゆったりとした流れに乗り、シカやオオワシとかオジロワシとの出会いも楽しみです。

残念なこと、美しい女性が川岸から手を振ってくれることは決してありません。

最近、屈斜路湖の和琴半島の先端でイオウ泉に玉子を置いて「ゆで玉子」づくり、熱いコーヒーとパンそして半熟のゆで玉子のランチは最高です。



和琴半島の先端で「ゆで玉子の熱源」。



【ニジマスです】

燻製ハウスです。

手作りで手直し数回と20年使っています。



「釣りはいいですね！」釣り歴は長く小学校から始めてます。対象魚はウグイから始まり、ルアー、フライ、たまに海も…です。右の写真は庶路ダム仕様のフローターです、ダムが出来前からの付き合いで、ひたすらニジマスを追いかけているのです。「毛バリ」もシンクシタカラ湖と庶路ダムでは違います、同じニジマスでも環境が違えば変わるってことですネ。

毛バリを作っている時は、爆釣になると信じていますが実際ではまったくダメな時が何度もありました。今では周りに気を使いながらも、一人で爆釣しています。(そうです、自慢です。)

庶路ダム釣行終盤では、何匹かをキープして燻製づくりをし、晩酌のつまみとなります。毛ばりを作り、魚をつり、燻製づくりと多くの時間を費やすのですが、特に燻製は72時間必要です。食べるのは5分もかかりませんが、この5分間が「至福の時」とでも言いましょうか、実にいいのです。

私の信条は、「一生懸命 仕事し、一生懸命 遊ぶ」これの繰り返しです。



会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

[デジカメ写真] の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味ダンス、スポーツ等作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

・エッセイ

随筆/随想/業務の体験等(題材自由) 1200文字以内

[文 芸 作 品] の部

・短歌/俳句/川柳 1回に各5点まで

- ◎ 作品はメールにて連絡先を明記しお送り下さい。
(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-m.com

- ◎ 募集は随時 掲載の締切は « 夏季号(7月上旬) 新年号(11月末) »

※ 採用された作品には、記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部(事務局)に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 TEL 011-615-1100 (北翔 事務局)

“北翔” おすすめ「製品や技術情報」を 随 時 募集しています。

製品の特長や商品写真、お問い合わせ先などA4サイズ1, 2枚程度(カラー)で原稿を作成し、北翔事務局にお送りください。

- ※ 採否並びに添削は編集部(事務局)に一任下さい。
(掲載の締切 夏季号(7月上旬) 新年号(11月末))

メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

編集後記

- ◎ あけましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。
- ◎ 巻頭、北海道知事 鈴木直道氏、札幌市長 秋元克広氏、から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申し上げます。
- ◎ 令和3年春における黄綬褒章(労働関係) 江藤恭一氏(株江藤美装)、令和3年秋における旭日小綬章 山田春雄氏(株ベリージャパン)、北海道社会貢献賞生活衛生関係(建築物環境衛生) 功労者 左海富美雄氏(ベルックス株)、栄えある受賞おめでとうございます。
- ◎ 令和3年度 労働安全衛生大会、労働災害防止 論文・標語の入選作品を掲載しました。
- ◎ 各地区協議会活動の中から数点をトピックスとして掲載しました。
- ◎ “ビルメンひろば” に各地区協議会広報担当に協力いただき投稿作品を掲載しました。
- ◎ 昨年度中止した「表彰式」並びに「祝賀会」(新年交礼会と合同実施)につきましては、令和3年度は、「表彰式」のみを開催することとし、「祝賀会」は、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案し、「新年交礼会」とともに中止としました。

編集責任者 広報委員長 山本有希

生活と環境に「キレイ」を届ける



刷子及び清掃用品の製造並びに販売
タケヤ刷子工業株式会社

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4番地	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函館営業所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭川営業所	〒078-8218	旭川市8条通18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番1	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
東京営業所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北海道工場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初! 洗浄プログラム制御
鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を選ばずどなたでも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-879-2181

〒003-0871 北海道札幌市白石区米里1条2丁目10番6号
ホームページ <http://www.karcher.co.jp>

KÄRCHER[®]
makes a difference



RINREI リンレイ ソーシャル・ハイジエニックシステム
SOCIAL HYGIENIC SYSTEM

多目的除菌洗剤

ノンアルコール

塩化ベンザルコニウム 0.05%配合

ハイジエニック除菌クリーナー中性

毎日のことだから、ローコストでウイルス除去・除菌*1+洗浄を。しかも安心・安全に。



1 ローコスト

市販アルコール類にくらべ、大幅ローコストでウイルス除去、除菌*1が可能。しかも洗浄も同時にできて、作業効率も大幅アップ。

2 ウイルス除去、除菌*1+洗浄が1ステップ

ウイルス除去、除菌*1作業に各種エビデンス*2を有し、しかも1ステップで汚れの除去まで可能な強力洗浄設計。

3 安心・安全

中性タイプなので様々な箇所に、どなたでも使えて安心。アルコール類にくらべ、素材、使用者への影響や、保管、管理方法での危険性が少なく安全。さらに希釈せずにそのまま使えて簡単便利。

*1 すべての菌、ウイルスを除去するものではありません。 *2 エビデンスに関しましては営業担当にご相談下さい。



18L



450ml/本 12本入/ケース

お買い得
詰め替え
タイプ

●使用時には安全作業のため、各製品の使用上の注意を読んでから正しくご使用ください。 ●ここに記載された内容以外の詳細につきましては、弊社担当営業までお問い合わせください。

株式会社 リンレイ 業務製品事業部 本社 〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13
 TEL.03(3541)4851(代)

東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241・福岡 092(883)7000
 札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738

<https://www.rinrei.co.jp/>

FM589905/ISO9001
 EMS589904/ISO14001
 素野事業所認証登録



スマホからアクセス

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目
 TEL (011) 761-8151(代)
 FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！

レンタル品目

高所作業車・橋梁点検車・トラック各種
 仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器具
 土木機械・発電機・溶接機・コンプレッサー
 高圧洗浄機・フォークリフト・荷役機械
 無線機・除雪機・暖房機器・電設機材etc...



ロータリーモア



家族のまさお



G23HD-J

クボタ 乗用刈払機



塵芥車 最大積載量 2t



40m



30m



12m



高所作業車 12m～40m

現場にあった機種をご用意致します！



美装用品～プロ用フロアメンテナンス機器～

SK LEASE エスケーリース株式会社

TEL: 011-775-4141 FAX: 011-775-4588
 本社: 札幌市北区百合が原6丁目1番20号
 西センター: 札幌市西区発寒17条3丁目3番
 白石センター: 札幌市白石区米里3条2丁目7番2号
 大谷地センター: 札幌市白石区流通センター4丁目4番32号
 丘珠センター: 札幌市東区北丘珠3条4丁目2番40号
 ☆HP=<http://www.sk-lease.co.jp> ☆E-Mail=head@sk-lease.co.jp

WetVac | F-30Li



Clean Innovation Company

ペンギンワックス株式会社

本社・工場 大坂市東区東中本3-10-14 (F537-0021)

CORDLESS コードレスウェットバキューム(固定スクイジー) ～ムベージがリニューアルしました！～ **ペンギンワックス** [検索](#)

圧倒的な作業効率！



連続稼働
 ※① 70分

充電時間
 ※② 60分

※①、②はバッテリーLV925、充電器CLV9251を使用した場合です。

●バッテリー交換も簡単



●汚水排出方法は2パターン



- ・バッテリーを搭載したままでも2階、3階へラクラク持ち運び！
- ・電源コードの制約から解放され洗浄作業が早く、効率的に！
- ・連続長時間作動、急速充電バッテリー交換も簡単！
- ・電源を探したり、ブレーカーを落とす心配も無用！

Allway Liコードレスマシンシリーズ
 バッテリー、充電器が共有できて便利！



●コードレスプロワ
 BL-24Li

●WetVac
 H-12Li

●BP-130Li/150Li

別売でツールキット
 もございます。

究極の1層仕上げ

透明感の高い皮膜で、光沢が高く、
長期間の美観維持が可能。

超高濃度樹脂ワックス

ポリーズ ユシロンコート

グロススペック27

ご用命・お問い合わせは…

ユシロ化学工業株式会社

〒003-0026

札幌市白石区本通19丁目南2番7号 食糧ビル3階

電話 **011-887-0397**



COARELEX 業務用トイレに最適!

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ①取り替え手間が3分の1
- ②収納スペースも2分の1
- ③トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更にカギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレトーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

コアレックス 道栄株式会社 札幌営業所

〒060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目1番14号 コアレックスビル 4階

TEL(011)633-2323 FAX(011)633-4555

コミュニケーションを基本に、これからの企業ユニホームを考えます。



UNIFORM IDENTITY

IMAGE
WORK

私たちは IMAGEWORK です。



イメージワーク株式会社

〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条1丁目5番17号
カンコー学生服ビル

TEL : 011-374-4811 FAX : 011-374-4855

詳しくはこちらをチェック!

イメージワーク

検索

“魅せる清掃”を通じてビルメンテナンスの本質を
社会に伝え、業界発展に貢献します。

環境美化用品総合メーカー

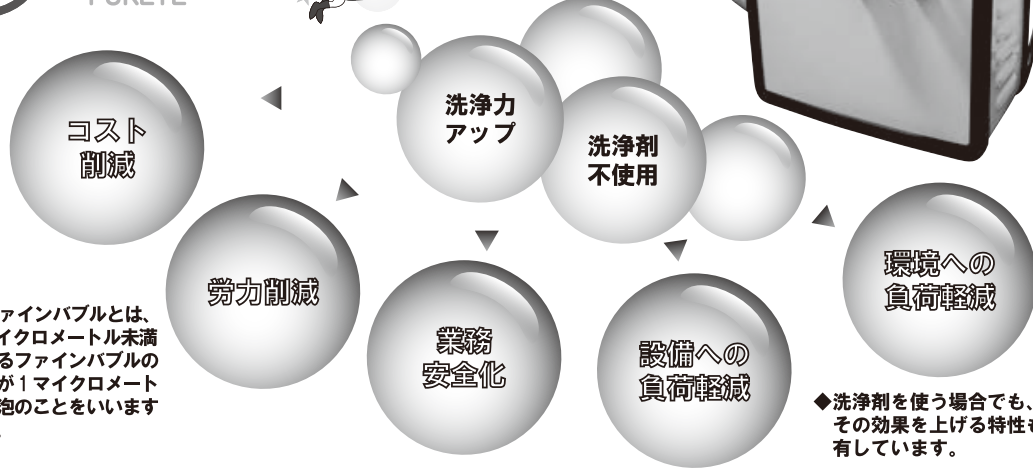
TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
<http://www.teramoto.co.jp/>

ISO9001 八尾工場 認証取得 成田工場
ISO14001 八尾サイト(八尾工場) 認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)



ウルトラファインバブル^(※1)自体が洗浄効果を発揮します。



(※1) ウルトラファインバブルとは、直径100マイクロメートル未満の気泡であるファインバブルのうち、直径が1マイクロメートル未満の気泡のことをいいます (ISO20480-1)。

◆洗淨剤を使う場合でも、その効果を上げる特性も有しています。

Brilliant Together
KINBOSHI
株式会社 金星
www.kinboshi-inc.co.jp

- 札幌 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西3-2-14 井門札幌ビル6F TEL (011)232-2333:FAX (011)232-2332
- 東京 〒102-0081 東京都千代田区四番町4-8 野村ビル3F TEL (03)3511-8441:FAX (03)3511-8440
- 大阪 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道1-10-26 サクラ森ノ宮ビル1F TEL (06)6975-2600:FAX (06)6975-2001
- 岡山 〒711-0907 岡山県倉敷市児島上の町2-1-68 TEL (086)470-0511:FAX (086)470-0364
- 福岡 〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町2-26 1F TEL (092)260-3508:FAX (092)260-3518

室内環境測定セット

環境測定機器・科学機器の製造販売
SIBATA

Indoor Pollution Evaluating System

IES-5000型

- 画期的なサイズ感
180(W)×130(D)×150(H)
- 小型軽量化 (2.3Kg 三脚を含む)
により一人で持ち運び可能
- タブレットPC +
本体のみで測定可能
- 測定操作はタブレットから
専用ソフトを使用し操作が簡単
- 6項目同時測定、測定時間1分～
(オプションにより最大9項目)
- 測定結果表示・報告書作成も
全てタブレットPC1台のみで可能

※質問、デモンストレーション等の御依頼は下記連絡先までどうぞ！！

東美商事株式会社

※2020年11月24日～移転しました

札幌営業所 北海道札幌市中央区大通西8丁目2番地 住友商事・フカミヤ大通ビル6階
〒060-0042 PHONE 011-252-1280 FAX 011-252-1281



清掃用品・資機材のことなら・・・

SEIHAN 株式会社 **セイハン**

【本社】 札幌市白石区北郷2条2丁目2-14
 TEL: 011-873-2000 FAX: 011-873-2100
 【旭川】 旭川市豊岡13条6丁目3-6
 TEL: 0166-35-7878 FAX: 0166-34-7588
 【帯広】 帯広市西20条南4丁目20-6
 TEL: 0155-58-2500 FAX: 0155-58-3300
 【仙台】 仙台市若林区新寺3丁目10-36 共立輸送ビル
 TEL: 022-732-5211 FAX: 022-792-5220
 【山形】 山形市西田5丁目25-7
 TEL: 023-616-5800 FAX: 023-616-5855

SEIHAN

人と地球を守る
 やさしい環境つくり。



ホームページもごさいます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz

検索



すぐにキレイ さらに安心。

「メイド・イン・ジャパン」の
 加速化過酸化水素製剤が新登場！

オキシライト

検索



0.5%加速化過酸化水素・HP Teck

オキシライト

多目的除菌クリーナー



- ▶ 高性能の除菌・除ウイルス剤
- ▶ 洗浄と除菌がワンステップ
- ▶ すぐに使える原液使用



10L



大切な場所には、きっと。

シーバイエス株式会社 www.facebook.com/CxSJapan

●札幌営業所 / 〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7-1(札幌流通倉庫ビル) TEL.011-817-6765 FAX.011-817-6768





ほく しょう
北 翔 (新年号)通巻119号 2022年1月31日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話(011)615-1100・FAX(011)615-7055

発行 代表者 岡田 知己

編集者 広報委員会